Ⅱ．貸借対照表関係

１．決算日における債務保証の総額は10,455,615,877円です。

２．土地7,124,908,000円及び建物15,577,910,211円を、長期借入金17,118,110,000円の担保に供しています。

３．運営費交付金から充当されるべき退職給付引当金の見積額は18,549,627,914円、賞与引当金の見積額は1,277,782,201円です。

４．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理に起因するもの

⑴　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計	16,494,133,086円
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計	14,585,257,010円
利益剰余金に与える影響額（差引き）	1,908,876,076円

⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計	1,224,972,464円

⑶　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資ではなく譲与としたことによるもの　353,563,470円

⑷　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資ではなく譲与としたことによるもの　374,427,613円

3,861,839,623円

Ⅲ．損益計算書関係

当期総利益のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

⑴　国からの承継時において、附属病院の建物，構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額	2,194,596,364円
当該借入金により取得した資産の減価償却費	1,680,622,766円
当期総利益に与える影響額（差引き）	513,973,598円

⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額	3,495,882円

517,469,480円

Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書関係

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金　10,039,612,863円

２．重要な非資金取引

⑴　現物寄附の受入による資産の取得　345,445,382円

⑵　ファイナンス・リースによる資産の取得　2,617,089,687円

⑶　当事業年度に新たに計上した重要な資産除去債務の額　7,234,000円

Ⅴ．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

１．引当外退職給付増加見積額のうち国又は地方公共団体からの出向職員に係るものは34,811,755円です。

２．機会費用の計上方法は重要な会計方針に記載しています。

Ⅵ．減損会計関係

１．固定資産の減損

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要
用途：宿舎　種類：建物　場所：鳥取県東伯郡三朝町　帳簿価額：10,745,536円

⑵　減損の認識に至った経緯：稼働率が著しく低下し回復の見込みがありません。

⑶　減損額：損益計算書計上額０円、損益計算書非計上額7,306,965円

⑷　複数の固定資産を一体として判定した理由：建物附属設備は一体として使用されています。

⑸　回収可能サービス価額：正味売却価格を上回る使用価値相当額（稼働率より算定）としています。

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要
用途：動物飼育室　種類：建物　場所：岡山県岡山市　帳簿価額：104,686円

⑵　減損の認識に至った経緯：老朽化により使用不能です。

⑶　減損額：損益計算書計上額０円、損益計算書非計上額104,685円

⑷　回収可能サービス価額：売却不能かつ使用不能につき備忘価額としています。

２．固定資産の減損の兆候

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要
用途：本島農場㈠　種類：土地　場所：香川県丸亀市　帳簿価額：39,600,000円

⑵　認められた減損の兆候の概要：使用中止により遊休状態です。

⑶　減損の認識に至らないとした根拠：回収可能サービス価額が帳簿価額を上回っています。

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要
用途：本島農場㈡　種類：土地　場所：香川県丸亀市　帳簿価額：1,540,000円

⑵　認められた減損の兆候の概要：使用中止により遊休状態です。

⑶　減損の認識に至らないとした根拠：回収可能サービス価額が帳簿価額を上回っています。

Ⅶ．重要な債務負担行為

平成25年３月31日現在の重要な債務負担行為は下記のとおりです。　（単位：円）

事　　項	平成25年度以降支出額
岡山大学（医病）基幹・環境整備（外来系統空調設備改修）工事	250,740,000
岡山大学（鹿田）医歯薬融合型教育研究拠点施設新営その他工事	848,925,000
岡山大学（鹿田）医歯薬融合型教育研究拠点施設新営機械設備工事	459,900,000
岡山大学（鹿田）総合研究棟改修（医学系）工事	416,997,000
岡山大学（鹿田）総合研究棟改修（医学系）機械設備工事	270,900,000
岡山大学（津島）総合研究棟改修（工学系）工事	213,885,000

Ⅷ．金融商品関係

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入れに限定しています。